

ウオダス 漁海況速報 No. 1972

発行日 平成29年12月21日
<http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184>
 発行 (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
 TEL:017-755-2155 FAX:017-755-2156
 住所 〒039-3381 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10



12月のウオダス発行予定

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	4	5	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	⑳	22	23
24	25	⑳	27	28	29	30
31	○ 漁海況		□ 漁況			

○ヤリイカ冬季来遊群は前年の158%予測
 ○津軽暖流域の各層水温は平年並み
 (開運丸による12月分太平洋沖合定線観測結果)
 ○親潮第1分枝の張り出しは平年並み~かなり南偏 (平成29年度第4回東北海区海況予報)

小泊 (12月6~10日)

マダラ刺網	6隻	2,551.5kg
(12月11~15日)		
マダラ刺網	3隻	822.9kg
(12月16~20日)		
スルメイカ釣り	1隻	110.0kg
マダラ刺網	4隻	642.3kg

大畑 (12月16~20日)

スルメイカ釣り	47隻	24,620.0kg
スルメイカ定置網	14隻	2,256.0kg
スルメイカ底建網	8隻	229.5kg
ヤリイカ釣り	4隻	18.0kg
ヤリイカ定置網	15隻	530.0kg
ヤリイカ底建網	16隻	231.9kg

下前 (12月6~10日)

スルメイカ釣り	1隻	15.0kg
ウスメバル釣り	9隻	553.5kg
マダラ刺網	2隻	1,581.7kg

マダイ (73.6kg)

マダイ定置網	2隻	2.1kg
マダイ底建網	16隻	71.5kg
クロマグロ延縄	1隻	20.0kg
ブリ定置網	1隻	1.5kg
ブリ底建網	1隻	2.0kg

鯨ヶ沢 (12月16~20日)
(とりまとめ中)

ウスメバル (805.8kg)

ウスメバル釣り	13隻	803.2kg
ウスメバル底建網	8隻	2.6kg

大戸瀬 (新深浦) (12月16~20日)
(とりまとめ中)

マダラ (42.3kg)

マダラ延縄	1隻	28.0kg
マダラ定置網	1隻	3.5kg
マダラ底建網	2隻	10.8kg

深浦 (12月16~20日)
(とりまとめ中)

サバ類 (4.6kg)

サバ類定置網	1隻	1.0kg
サクラマス釣り	1隻	1.5kg
サクラマス定置網	5隻	3.1kg

平館 (外ヶ浜) (12月11~20日)
(とりまとめ中)

三厩 (12月16~20日)

クロマグロ釣り	1隻	40.0kg
ウスメバル釣り	1隻	6.0kg

三沢 (12月16~20日)
(とりまとめ中)

佐井 (12月11~20日)
(とりまとめ中)

八戸 (12月16~20日)

スルメイカ釣り	28隻	10,550.0kg
スルメイカ底曳網	18隻	29,627.0kg
スルメイカ(40,177.0kg)		
ヤリイカ定置網	7隻	27.0kg
マダラ定置網	15隻	108.0kg
マダラ(33,430.0kg)		
マダラ底曳網	20隻	33,322.0kg
サバ類定置網	7隻	5.0kg
サバ類(840,015.0kg)		
まき網	3隻	840,010.0kg
サケ定置網	30隻	24,488.0kg

尻労 (12月16~20日)
(とりまとめ中)

白糠 (11月21~12月20日)
(とりまとめ中)

○ヤリイカ冬季来遊群の漁況予測

2017年漁期(2017年8月-2018年2月)に青森県-北海道渡島-岩手県の海域で漁獲されるヤリイカ冬季来遊群の漁況予測を行ったので、その結果をお知らせします。

予測漁獲量: 2,471トン (前年比158%, 直近5ヶ年比205%)

一方、近年は予測結果がはずれやすい海洋環境寒冷期に突入したと考えられています。

(ホームページ参照 <http://www.aomoriitc.or.jp/index.php?id=2388>)

○サケ捕獲状況

(12月10日現在)

	沿岸漁獲尾数	対前年比	
北海道	15,717,615 尾	67.0%	北海道連合海区漁業調整委員会調べ
オホーツク	8,584,617 尾	73.2%	
根室	2,121,951 尾	45.0%	
えりも以東	733,297 尾	32.2%	
えりも以西	2,401,776 尾	73.0%	
日本海	1,875,974 尾	129.3%	

青森県	970,901 尾	117.8%	青森県農林水産部水産局水産振興課調べ
岩手県	1,725,790 尾	80.1%	岩手県農林水産部水産振興課調べ
宮城県	802,226 尾	93.8%	宮城県農林水産部水産業基盤整備課調べ

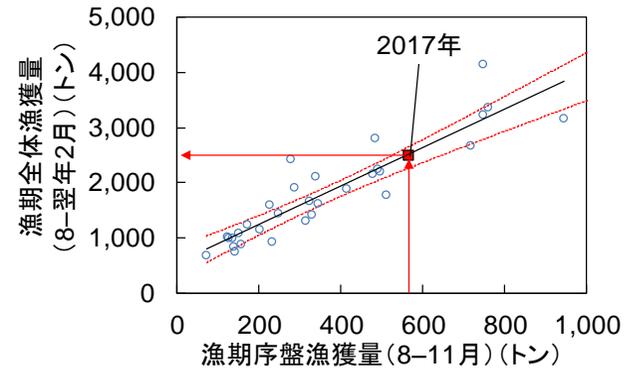


図 漁期序盤と漁期全体の漁獲量の関係

沿岸各地の水温 (12月16日～20日)

日本海 8℃～9℃台 津軽海峡 6℃～12℃台
陸奥湾 6℃～13℃台 太平洋 6℃～10℃台

今回は平均前回差が-0.2度となりました。

前年と比べると、日本海が-0.2度、津軽海峡が+0.1度、陸奥湾が-0.2度、太平洋が+0.8度で、平均前年差は+0.1度となりました。

多くの地点で平年を下回り、日本海側及び津軽海峡側で「かなり低め」、太平洋側で「やや低め」となっています。

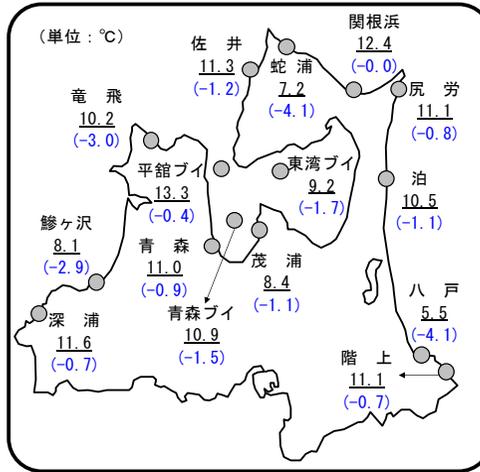


図 定地水温(12月16日～20日)
平均値(平年差)ブイは1m

表 沿岸各地の水温 (12月16～20日)

(単位:℃)

	水温	前回差	前年差	平年差	
日本海	深浦	9.8	-0.6	-0.6	-1.3
	鰐ヶ沢	8.1	+0.3	+0.2	-1.5
	平均	8.9	-0.1	-0.2	-1.4
津軽海峡	竜飛	10.2	-0.2	+0.4	-1.7
	佐井	9.9	-0.4	+0.1	-1.6
	蛇浦	6.4	-1.1	-1.1	-4.2
陸奥湾	関根浜	12.1	+0.4	+0.9	+0.6
	平均	9.6	-0.3	+0.1	-1.7
	青森	11.2	+0.5	+0.1	+0.3
太平洋	茂浦	6.3	-1.4	-0.9	-1.7
	平館	13.0	+0.0	+0.9	+0.2
	青森	10.7	+0.3	-0.6	-0.3
全体平均	東湾	8.2	-0.6	-0.8	-1.0
	平均	9.9	-0.2	-0.2	-0.5
	尻屋崎				
太平洋	泊	10.5	+0.4	+0.8	-0.2
	八戸	6.7	+0.1	+0.7	-2.0
	階上	9.8	-0.3	+0.9	-0.8
平均	9.0	+0.1	+0.8	-1.0	
全体平均	9.5	-0.2	+0.1	-1.1	

太平洋の海況

(12月17日～18日、表面水温分布)

概況：沿岸水温は12℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

前回と比べて1～2度降温しています。これは前年同期と比べて1度ほど高い水温です。

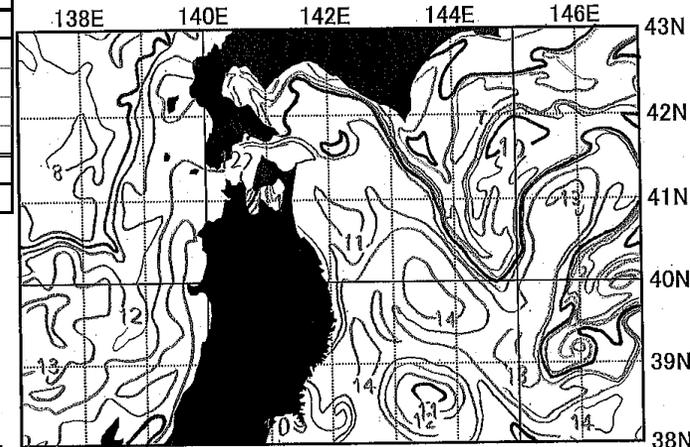
日本海の海況

(12月17日～18日、表面水温分布)

概況：沿岸水温は12℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べて1～2度降温しています。これは前年同期と比べて同程度の水温です。



資料：(一社)漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 第74号 12月19日発行

○太平洋沖合定線観測結果 (12月分)

試験船開運丸により12月3日から4日にかけて太平洋沖合定線観測を行いました。

結果は下表のとおりで、津軽暖流域の各層最高水温は各層共に「平年並み」でした。また、津軽暖流の水塊深度は「平年並み」、尻屋崎東方への張り出しも「平年並み」でした。親潮水の分布はほとんどみられず、鮫角沖には暖水塊がみられました。

津軽暖流流勢指標 12月

12月6～16日 開運丸

観測項目	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	平年差	平年比	
各層最高水温(℃)	0m	14.9	13.4	13.6	15.3	13.1	-0.5	-54%
	50m	15.02	13.77	13.90	15.37	13.30	-0.60	-55%
	100m	14.79	13.77	13.90	15.25	13.30	-0.50	-44%
水塊深度(m)	159.1	262.4	286.5	349.5	271.3	+15	+39%	
張出位置(東経・度)	142° 20.5'	143° 42.2'	145° 19.8'	< 145° 19.8'	< 143.26°	0.14°	+26%	

○平成29年度第4回東北海区海況予報

東北水研と北海道区水研は12月20日、関係機関の情報を取りまとめ、以下のような予報を発表しました。

今後の見通し (2017年12月～2018年1月)

近海の黒潮続流の北限位置は平年並み～やや南偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並み～かなり南偏で推移する。金華山はるか沖の暖水塊は西方へ移動する。三陸沖の暖水塊は北東に移動する。常磐沖に暖水塊ができる。

